

りんぽかんだより

2026年4月1日
第265号
発行・宮ノ原隣保館
TEL 42-4620

ひろしまこくさいだいがく がくせい みやはら まな 広島国際大学の学生さん！宮ノ原で学ぶ！

3月11日（水）、広島国際大学の6人の学生さんが宮ノ原隣保館に来館されました。訪問された理由は、地域共生社会の実現をめざしている、「多文化共生縁づくりフェスタ」、「買い物支援サービス」について学びたいということでした。これは大学の授業であり、実際に活動している地域に学ぶことをねらいとしており、宮ノ原隣保館の活動が選ばれました。学生さんは自分たちがめざす「地域づくり」をイメージしながら、真剣な表情で聞いており、その姿はとても印象的でした。その後、高齢者の方が移動するときなどの課題について考えながら、宮ノ原地区をまわりました。



縁づくりフェスタについて聞く大学生

そして次の日、大学生のみなさんは大柿高校の生徒さんと交流しながら、学んだことなどを発表されましたが、素晴らしい発表でした。特に嬉しく思ったのは、宮ノ原隣保館で印象に残ったことは、「できない理由を探すのではなく、できる理由を探す。」であったと発表してくれたことでした。広島国際大学のみなさんのこれからの活躍を期待し、応援したくなった時間でした。

がつ にち にち だい かいえん かいさい 6月7日（日） 第5回縁づくりフェスタ開催

「第5回縁づくりフェスタ」の準備を行う頃となりました。早速、お願いしている洋服や雑貨などをもってきていただく方も多く、感謝しております。昨年度も多くの方に来ていただき、大盛況でしたが今年度はさらに充実したフェスタにしたいと考えています。そのためには、地域をはじめ多くの方の協力が必要です。ぜひ、みなさんをお誘いいただき、会場を盛り上げるようお願いいたします。

隣保館だより3月号 お詫びと 訂正

3月の隣保館だよりを見た方よりご連絡があり、「幸ノ浦地区」としていたことや、「2月19日に行われる」と書いていると伝えていただきました。正しくは「幸ノ浦地区」であり、「2月19日に行われた」でした。訂正してしてお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。

りんぽかんへ聞きたいこと

講座申込・会館利用申請・相談について・その他（該当するものに○をしてください。）

名前

TEL

ご質問など

ミャンマーの心を学ぶ 第4回 地域交流講座開催

昨年さくねんの11月16日がつ にち にち（日）、ミャンマーの家庭料理を通して、ミャンマーの歴史、文化、普段の生活などを学びながら、交流を深めました。この時は民泊修学旅行で江田島を訪れた埼玉県の高校生も参加してくれ貴重な体験学習を行うことができました。そして今回は、この時、料理づくりを教えてくれたメイさんとウェイさん、そして新しく日本にいられたカインティンチーさんの3人が働く誠心園で介護の学習を通じた第4回地域交流講座を行いました。

14名の方が参加されましたが、自分たちの生活と直結することが多く、積極的に質問されていました。また、「どうして、日本で働くことになったのか？」の質問では、「ミャンマーのお父さん、お母さんに仕送りをするために来た。」と答えた時には驚きと感心の声が上がりました。前回の交流会でもミャンマーの3人の心の優しさや笑顔を絶やさない丁寧な対応が見られましたが、今回では誠心園で生活している高齢者の方が喜んでおられる姿が浮かびました。

ミャンマーの心優しさが身に染みたま素晴らしい、今年度最後の「第4回地域交流講座」でした。



今年度もよろしくお願ひします！

4月が新しくスタートしました。今年度も森と岡村で頑張っていこうと思ひます。昨年度から始まった「買い物支援サービス」は地域のまちづくり協議会、誠心園、そして江田島市の協力をいただき、多くの方に喜んでいただきました。また、「多文化共生縁づくりフェスタ」は4回目を行うことができました。今年もみなさんに喜んでいただくようにしたいと思ひます。

宮ノ原隣保館はこれからも地域や関係機関と密着した人権・福祉の拠点として、江田島町から地域共生社会の輪を広げるために頑張っていきたいと考えています。